

スタートライン

深谷市立川本南小学校
第 1 学年
学年日より 10月号
平成25年10月1日

はじめての うんどうかい！

—ちから いっぱい がんばったよ！—



先日の運動会では、たくさんの方にご来校いただき、子供たちへの大きな声援をありがとうございました。2学期スタートと同時に、運動会に向けての練習が始まり、子供たちは、競技や演技、応援の仕方等を一生懸命練習しました。南小では、全てが初めての事です。

本番では、子供たち一人ひとりが自分の力を出し切ることができました。とても緊張した中走った50メートル走。精一杯に走る姿は、かっこよかったですね。スタート前の胸のドキドキ、ピストルのドーン「すごく、こわかったよ。」、夢中でゴールを走り抜けた、あっという間の50メートル走でした。悔しい思いをした子もいましたが、それが来年の目標となるでしょう。玉入れでは、友達と協力してがんばりました。チェッカーダンスがかわいかったです。そして、ダンス「にんじやばんばん」。子供たちは、忍者学校に入学し、練習のときから「笑顔で・動作を大きく・大きな声で」を目標にがんばってきました。本番ではリズムにのり決めポーズもばっちり決まりました。全員、忍者の免許皆伝です。これまで見てきた中で本番が一番上手にできました。やはり、保護者の皆様の応援があると子供たちは輝きます。会場いっぱいに、子供たちの笑顔が輝いていました。

運動会という行事を通して、子供たちは多くのことを学び、また一段と大きくたくましくなりました。10月は、学校生活の振り返り地点です。今後は、じっくりと落ち着いて学習に取り組ませ、基礎基本が確実に身に付くように努力していきたいと思います。ご家庭でも励ましの言葉をかけてくださるようお願いします。



お世話になりました

4月からお世話になっている栗原真弓先生が10月7日で勤務最終日となります。1年生が学校生活を安心して送れるよう、学習の理解に時間のかかる子には、そばに寄り添って優しく教えてくださり、授業準備や給食指導のお手伝いなど様々な面できめ細かい支援をしていただきました。



行事予定

10月

月	火	水	木	金
	1 フッ素洗口 アルミ缶回収	2 ランタイム	3 朝読書 短学活	4 運動会振替休業日
7 全校朝会 栗原先生最終日	8 フッ素洗口	9 ランタイム	10 朝読書	11 朝読書 チャレンジタイム
14 体育の日	15 フッ素洗口 もち米引き渡し式	16 ランタイム 就学時健康診断 (3時間授業) 下校12:45	17 朝読書 短学活 歯科健診	18 朝読書 縦割り遊び
21 児童集会	22 フッ素洗口 演劇鑑賞会	23 ランタイム	24 朝読書	25 朝読書
28 美化集会 一斉下校 下校15:00	29 フッ素洗口 集金日(二千元)	30 ランタイム 教育相談日	31 朝読書 特別日課14:10下校 11月2日(土) 校内音楽会	※校外学習 11月22日(金) 場所: 寄居風布 ミカン狩り

※通常の下校時刻は14:40



お願い



☆図工の材料集めについて

「どうぶつむらのピクニック」(教科書 P.23) で使うお菓子の空き箱、空き容器、ひも類などの身近材料を集め、18日までに持たせてください。身近材料について、詳しくは裏面をご覧ください。

☆生活科で、球根を植えます。(アサガオで使った植木鉢に植えます。)

育てたい花の球根を2個(同じ種類でもよい。)用意してください。花の名前がわかるように袋に書いて、23日までに持たせてください。

☆筆箱の中を見てください。最近、落とし物が多くなっています。

箱形の筆入れは、キャップは不要です。削ってあって、取り出せたらすぐに使える状態(削りすぎない)が一番いいです。

(筆箱に入れるもの…4Bの鉛筆5本、赤青鉛筆1本、ネームペン1本、消しゴム1個、グリップ)1つ1つに必ずはっきりと記名をお願いします。

☆カタカナや漢字練習を宿題に出しています。書き順や細かいハネやはらいも見てあげてください。学習が難しくなってきた、覚えなければならないことがたくさんあります。励ましの言葉もかけてあげてください。

☆国語の作文学習が始まります。今後、土日の宿題に日記を出したいと考えています。日記帳(あのねノート)の最後にサインをお願いします。

☆算数ノート(13マス)・漢字ノート(10マス)・あのねノート(12マス)を配ります。国語ノートにつきましては、ノートが終わったら(10マス)を個人で買ってください。

算数の授業より

算数の単元「どっちがおおい」（水の量）の学習の中で、CC レモンのペットボトルと醤油の入れ物の量（かさ）を比べる方法を考えさせました。一年生なりに、たくさん考えつきました。①一方を空にして、その入れ物に入れて比べる②どちらも別の大きな入れ物（同じ形）に入れ水の高さで比べる③ゼリーカップ（同じ形）に何杯分かで比べる④みずの重さで比べる等たくさんの方をを考えました。

そんな中、ある子は、茶わんやスプーンで何杯分かで比べる。と答えました。この子は、生活体験から考えたのです。お家の人と調理をしていて、計量スプーンで何杯分と計ったのでしょうか。素晴らしいです。生活体験の豊かな子は、考え方も広がります。ぜひ、いろいろな体験を親子でしてください。

図工の身近材料について

身近材料とは、普段生活をしている中で出てくる材料です。

きれいな包み紙やりぼんやひも、お菓子のつつみがみや箱など普段の生活の中には、きれいで捨てられない物がたくさんあります。片付けるには、捨てていかなければなりません、子供達の図工の材料としてとっておいてください。これを、普段から、心がけていただくと少しずつ貯まっていきます。今回の、図工の材料としてだけでなく、ずっと心がけていただくと、よい作品作りができます。図工作品は、材料が命と言っても過言ではありません。子供達は、材料から多くのヒントを得ます。面白い形やきれいな模様、きれいな色等がイメージを広がるのです。発想も、豊かになります。

例えば、お誕生日のプレゼントやクリスマスプレゼントの包み紙やその時のリボンは、プレゼントした人の思いが込められています。それを使う子供は、決して粗末には扱えません。大切に使います。

100円ショップで買いそろえた物は、いろいろ揃いとても便利です。しかし、心がこもっているわけではありません。そこからは、子供達のいろいろな発想は、期待できません。

以上のことから、保護者の皆様に、図工の材料集めのご協力をお願い致します。ご家庭の中に、子供のための、図工材料箱又は、材料コーナーを作ってください、普段から心がけてください。

プリンカップやプラスチックのスプーン・紙皿や紙コップなども加工しやすく便利です。なかなか使い切らないラップの芯などは、使い終わった時に取っておきましょう。毛糸・パンの袋を止める針金も便利です。いろいろ考えられるので、集めてください。